

学内の活動

情報学基礎

世界的な通信企業Orangeの日本支社であるOrange Labs Tokyoと協力して企業との連携し、現場のデザイナーやエンジニア、リサーチャーとの英語でのコミュニケーションも組み込んだ実践的な授業を主担当として運営した。

システム委員会

学内の基盤となるネットワークや共用備品等の運用に関して提言や調査を行った。また、ガイドブックや年度当初に行うeラーニングに関して共同でコンテンツのメンテナンスを行った。

Smart Thingsプロジェクト

世界的な通信企業Orangeの日本支社であるOrange Labs Tokyoと共にスマートフォンと連携する機器に関する共同研究を行い、日常の動作を記録して追跡し、親密な関係における特定のジェスチャに対してアクションやリマインダをセットするウェアラブルデバイス「Looper」のコンセプトプロトタイプを製作した。

ものづくりオープンメソッドプロジェクト

岐阜工業高等専門学校、美濃市、株式会社タカイコーポレーション、株式会社喜乃紀と共に共同プロジェクト「MINO JITENSHA PROJECT」を編成し、2014年5月に開催された長良川アウトドアフェスティバル2014において美濃ビーコン体験会を開催した。その後も継続して合計10回の体験会を開催し、位置情報技術iBeaconを用いた観光支援アプリケーションの可能性と課題を探索した。

Craft, Fabrication and Sustainabilityプロジェクト

岐阜県立森林文化アカデミー、株式会社TABと連携し、それぞれの持つスキルやノウハウ、手法を共有し、手仕事とデジタルファブリケーションを組み合わせた持続可能なスモールビジネスのためのプラットフォームを構築するための準備段階としての活動を行った。

学外の活動

コア・ブースター・プロジェクト2

有限会社トリガーデバイスおよび公益財団法人ソフトピアジャパンと連携し、地場産業と情報産業の掛け合わせによるイノベーション創出プロジェクト「コア・ブースター・プロジェクト」の第

2回を運営した。成果として、特定非営利活動法人森とITがプロデューサーとなり、共立コンピューターサービス株式会社とピーアイシステム株式会社がソフトウェアで、株式会社丸八木管製作所と有限会社仏壇工芸ほりおがものづくりで参加したチームからはスマートフォンやタブレットと連携する木製の積木「ことばつみき」が生まれた。また、飛騨産業株式会社がプロデューサーとなり、株式会社セイノー情報サービス、フィット合同会社、株式会社トウメイエンジニアリング、サンメッセ株式会社が参加したチームからはスマートフォンと連携して光る家具「イロドリスタンド」が生まれた。これら2つのコンセプトプロトタイプは、前回の成果である「光柀」と共に経済産業省からの依頼により2014年10月に開催されたITの世界的な展示会「CEATEC JAPAN 2014」において展示した。

共同研究

ヤマハ株式会社と「ユーザーと既存企業が価値を共創するためのプラットフォーム構築」に関する共同研究を行った。また、ローランド ディー.ジー.株式会社と「APIを提供する工作機械の評価及びそれを適切な理解の元で普及させるための方法のデザイン並びにその実行」に関する共同研究を行った。さらに、文部科学省・科学技術振興機構による「革新的イノベーション創出プログラム（センター・オブ・イノベーションCOI STREAM）」に明治大学が中核機関になり、COI-T（トライアル）拠点として採択された「感性に基づく個別化循環型社会の創造」に連携機関として参加した。この研究プロジェクトについては、トライアル機関の成果が認められ、2015年度から正式にCOIに昇格した。